

令和2年度 決算報告書
(第17期)

国立大学法人鳥取大学
(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	10,791	10,917	126	(注1)
施設整備費補助金	389	415	25	(注2)
補助金等収入	28	2,312	2,284	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	34	34	-	
自己収入	27,507	27,354	△153	
授業料、入学料及び検定料収入	3,547	3,323	△224	(注4)
附属病院収入	23,429	23,476	47	(注5)
財産処分収入	-	3	3	(注6)
雑収入	529	550	20	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,713	1,657	△55	(注8)
引当金取崩	18	14	△3	(注9)
長期借入金	414	413	0	
目的積立金取崩	773	486	△287	(注10)
前中期目標期間繰越積立金	-	-	-	
計	41,670	43,605	1,935	
支出				
業務費	38,652	37,815	△837	
教育研究経費	14,809	14,741	△68	(注11)
診療経費	23,843	23,074	△769	(注12)
施設整備費	838	862	24	(注13)
補助金等	28	2,096	2,067	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,713	1,674	△38	(注15)
長期借入金償還金	438	430	△7	(注16)
大学改革支援・学位授与機構納付金	-	0	0	
計	41,670	42,880	1,209	
収入－支出	-	725	725	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった補正予算等による運営費交付金が交付されたことにより、予算金額に比して決算金額が126百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、事業計画が変更されたことにより、予算金額に比して決算金額が25百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算額に計上していなかった補助金の受入により予算金額に比して決算金額が2,284百万円多額となっています。
また、授業料等減免費交付金が214百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として予算額に補助金等収入に計上している授業料等減免費交付金を含んでいることから、予算金額に比して決算金額が224百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、主として高額医療費の増加による増収により、予算金額に比して決算金額が47百万円多額となっています。
- (注6) 財産処分収入については、国から出資を受けた土地等の売却を行ったことにより、予算金額に比して決算金額が3百万円多額となっています。
- (注7) 雑収入については、科学研究費補助金間接経費収入の増加により予算金額に比して決算金額が20百万円多額となっています。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、民間等からの受託研究等の収入が減収となったため、予算金額に比して決算金額が55百万円少額となっています。
- (注9) 引当金取崩については、附属病院特定任期付職員の退職者数の減少により、予算金額に比して決算金額が3百万円少額となっています。
- (注10) 目的積立金取崩については、事業計画が変更されたことにより、予算金額に比して決算金額が287百万円少額となっています。

- (注11) 教育研究経費については、経費の節減、人件費の抑制等により予算金額に比して決算金額が68百万円少額となっています。
- (注12) 診療経費については、経費抑制に伴い執行額も減少したために予算金額に比して決算金額が769百万円少額となっています。
- (注13) (注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が24百万円多額となっています。
- (注14) (注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が2,067百万円多額となっています。
- (注15) (注8)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が38百万円少額となっています。
- (注16) 長期借入金については、金利変更等償還計画の変更により予算金額に比して決算金額が7百万円少額となっています。

○決算額と損益計算書上の計上額との差異について

教育研究経費、診療経費の決算額と損益計算書上の計上額との差の主なものは、固定資産取得に関わる支出であります。